

高津高校 SSH通信

68期生卒業生との懇談会

7月24日に、国際メンタリングワークショップに参加した際、今年の4月に東京電力に入社し、福島第一原子力発電所に配属された、本校68期生の卒業生である山本忠亮さんとお話する機会をいただきました。

山本さんは、大学での研究活動を通して、福島第一原子力発電所の廃炉作業に強い関心を持ち、東京電力に入社されました。懇談会では、どのように進路選択をしたのか、また、なぜ福島第一原子力発電所で働こうと思われたのかなど、非常に興味深いお話を聞くことができました。



山本忠亮さん 本校68期卒業生

大学在学中に、「人の役に立つ研究がしたい!」と、水素酸化触媒に関する研究に従事。福島第一原子力発電所を実際に見学した際に、さらにその思いは強くなり「ここで働きたい」と東京電力に入社。原子炉建屋の水素爆発事故での水素処理や廃炉作業過程で発生する水素の処理に関する研究を通して、福島復興に尽力されている。

懇談会では、高校生活では、「これだけはよくがんばった」と思える経験をしておくこと、研究テーマの選択した過程などを丁寧に話してくれました。